

発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314

# かさおか



初代様手縫の巾着（芳井分教会所蔵）

をやの思いをにをいかけ、

<sup>うちうち</sup>内治に心を配り おたすけに誠の心を尽くそう

1. 一歩前進 百万軒
2. おつとめの徹底とひのきしん
3. 機を逃さず おさづけの取次

## 立教一六七年

### 明けましておめでとうございます

の反省を基に、反省に臆する事なく、より一層の勢いをもって実動に邁進させて頂きたいものであります。

昨年は大変御苦勞様でした。一昨年の大祭で御発布された諭達第二号を受け、教祖百二十年祭に向け三年千日と仕切って成人の歩みを始めた歩み出しの年として、皆それぞれがしっかりと心を定め、成人へと歩み出して下さった事と

徹底とひのきしん」「一、機を逃さずおさづけの取次」を實踐項目と定め、実動に励んでまいりました。実動内容については各自に反省をお任せしますが、歩幅は違っても皆間違はなく確実に、教祖百二十年祭に向け成人の歩み出しをする事が出来たと思えます。

又、三年千日成人の歩みは、仕切ってひながたを辿る歩みとお聞かせ頂いております。ひながたの歩みは決して楽々の道ではありません。むしろたすけ一条の苦勞の道であります。文字通り残された二年、自ら苦勞を求めてご恩報じの歩みをさせて頂きたいと存じます。

を救ける心の涵養と実践」の趣旨を受け「親の思いをにをいがけ、内治に心を配り、おたすけに誠の心を尽くそう」を合言葉に「一、一步前進百万軒」「一、おつとめの

今年は二年目の年であります。昨年踏み出した一步を受け、しっかりと二歩目を踏み出すことによつて、三年目はより大きく踏み出せると思えます。今年一年昨年

何卒一手一つに歩んで下さる事をお願い申し上げて年頭の挨拶とさせていただきます。

笠岡大教会長

上原理一

## 立教167年 笠岡大教会 年間行事 予定表

部会 月	全体行事	ひのきしん	布教部	海外部
1	4~18 直轄教会春季大祭参拝 年頭会議	25~27 春季大祭詰所受入 27~31 直属ひのきしん5日隊(30名)		
2	2~15 部内巡教	16~29 本部食堂(福山ブロック)	22 にをいがけ・おたすけ実修会 26~27 教会長講習会 28~29 修養科修了講習会	
3	2~15 部内巡教			
4	22 3代会長夫妻・4代会長年祭	1ヶ月 本部保安(1名) 1~5 直属ひのきしん5日隊(20名) 17~19 教祖ご誕生祭詰所受入	4月 にをいがけ・おたすけ実修会 ~6月 (全教会で実施)	
5	4~18 直轄教会定期巡教	1~15 本部食堂(高屋ブロック)	16 全教一斉ひのきしんデー 28~29 修養科修了講習会	
6		11~15 直属ひのきしん5日隊(20名)		
7		1~25 直属ひのきしん特別隊 16~31 本部食堂(島根ブロック) こどもおぢばがえり		
8	26~4 こどもおぢばがえり	25~4 詰所受入 6~20 直属ひのきしん特別隊 11~15 直属ひのきしん5日隊(20名)	28~29 修養科修了講習会	22~24 英語講習会
9			1~30 布教推進強調月間 9月 にをいがけ・おたすけ実修会 ~11月 (全教会で実施) 28~30 全教一斉にをいがけデー	
10	4~18 直轄教会秋季大祭参拝	1ヶ月 本部保安(1名) 1~15 本部食堂(上府ブロック) 25~27 秋季大祭詰所受入		
11	28 別席伏せ込みひのきしん団参		28~29 修養科修了講習会	
12	22 年末大掃除	21 献血ひのきしん 27 詰所餅搦		
備考	◎常話会議 毎月29日 午前10:00 ◎直轄教会長の集い 毎月20日 午後2:00	註: ブロックの区分けは 直1: 鶴山~明石市 直2: 久松、東城~錦備 上府: 上下、府中市	◎おかえり講話 1月25日、4月17日 4月18日、10月25日 いずれも午後7:00	◎月例勉強会(毎月21日) ◎『英文かさおか』発行 ◎海外よふばく月報

◎役員並びに直轄教会長会議: 毎月29日午後2:00、2月は末日、4月は午後3:00、7・9・12月は20日(直轄教会長の集いに替えて行なう)

部会 月	婦人会	青年会	少年会	学生会 学生担当委員会	輸送部
1	31 全委員長研修会				25~27 春季大祭参拝
2				21 学生層育成者講習会	
3				28 春の学生おぢばがえり (直属アワー)	
4	19 婦人会本部総会		30~2 鼓笛/バンド講習会 2 おつとめまなび総会	25 新入生歓迎会(おぢば)	17~20 教祖ご誕生祭参拝
5	23 ひまわり会おつとめ大会				
6	5・6 こかん様に続く会 27 伏込みひのきしん	26~27 別席・伏込みひのきしん団参	21 縦の伝道講習会 (育成講習会)		
7					こどもおぢばがえり 26~4 団体列車1本
8		22~24 新入会員研修会 29~5 全分会布教推進週間	22~24 野外錬成会(キャンプ)		
9				23 学生の集い	
10		27 本部青年会総会			25~27 秋季大祭参拝
11	23 委員長後継者講習会	1ヶ月ひのきしん隊			
12					<b>雅楽部</b>
備考	◎支部例会(毎月5日午前10時) ◎直轄委員長連絡会(毎月次祭後) ◎女子青年例会(毎月4日曜日) ◎ひまわり会(毎月3日)	◎大教会ひのきしん 毎月19日 午前9:00~	◎教会おとまり会の実施		◎練習: 毎月次祭前日 の動後刻 ◎舞楽練習: 毎月次祭日

# 立教167年 定期巡教表

教会名	巡教月日	巡教員	教会名	巡教月日	巡教員	教会名	巡教月日	巡教員
廣町	2月13日	大教会奥様	御野	3月8日	大教会奥様	大江橋	2月5日	岡本久善
福廣	3月7日	河原節喜	香地華	3月9日	大教会長様	品治	3月7日	武内清
福勇	2月11日	岡本久善	真金	3月11日	門脇誠教	久福	2月8日	中村邦義
福芦	2月9日	岡本久善	仲條	3月8日	岡本久善	呉福	3月5日	中村邦義
福満	2月8日	大教会奥様	稲倉	2月13日	吉岡壽	久津	2月9日	上原繁道
福岩	2月12日	上原繁道	稲瀬	2月5日	大教会長様	鶴南	2月8日	岡本久善
西村	3月10日	大教会長様	稲富士	2月15日	佐藤道孝	鶴眞	3月10日	岡崎和夫
福年	2月7日	吉岡壽	稲讚	2月10日	大教会長様	川島郷	2月10日	岡崎和夫
引野	2月6日	大教会長様	門司港	2月12日	佐藤道孝	鴨方	3月6日	河原節喜
福昭	2月11日	大教会長様	大恵山	3月12日	吉岡壽	作備	2月6日	河原節喜
福春	2月5日	河原節喜	東水島	2月10日	大教会奥様	輝華	2月13日	中村剛
福中	2月12日	武内清	高児島	3月5日	岡本久善	錦ヶ原	3月3日	武内清
福富士	3月10日	門脇誠教	出雲	3月11日	中村剛	行藤	3月11日	武内清
福東	3月9日	門脇誠教	瑞雲	3月6日	岡崎和夫	眞府	2月9日	武内清
東福山	2月6日	武内清	海潮川	3月8日	岡崎和夫	吉舎	3月4日	佐藤道孝
福南	2月13日	中村邦義	錦洋	3月14日	大教会長様	清嶽	3月5日	吉岡壽
福順	2月11日	河原節喜	米府	3月15日	大教会長様	上小島	2月10日	武内清
福節	3月8日	中村邦義	弓ヶ濱	3月8日	佐藤道孝	木津和	3月6日	田中一之
福備	2月3日	岡崎和夫	西伯	3月9日	佐藤道孝	國須	2月7日	田中一之
福輝	3月13日	岡本久善	米美	3月5日	大教会長様	上吉野	3月12日	中村邦義
坪生	2月5日	岡崎和夫	伯仙	3月10日	佐藤道孝	上備	3月8日	大教会長様
八尋	2月10日	上原繁道	照雲	3月6日	大教会長様	河佐	3月4日	武内清
深安	2月6日	大教会奥様	輝伯	3月3日	田中一之	上川邊	3月12日	佐藤道孝
笠尋	2月3日	大教会奥様	松都	3月7日	岡崎和夫	甲井	3月6日	吉岡壽
芦品	2月13日	岡本久善	樺島	3月3日	大教会奥様	上父	3月7日	大教会奥様
安那	3月8日	河原節喜	亀田山	3月12日	大教会長様	阿木行	3月2日	上原繁道
芦田川	3月3日	中村剛	出雲川津	3月10日	中村剛	宇津戸	3月5日	中村剛
三郡	3月10日	大教会奥様	天場山	3月8日	吉岡壽	河面	2月8日	大教会長様
芦常	2月5日	吉岡壽	簸ノ川	3月10日	上原繁道	府鮮	3月13日	田中一之
芦辺	2月9日	佐藤道孝	多古浦	3月13日	大教会長様	府世原	3月12日	岡本久善
芦加茂	2月6日	中村邦義	瑞北	3月9日	上原繁道	神驛	2月5日	中村邦義
恵陽	3月14日	吉岡壽	雲東	3月11日	上原繁道	神免	2月8日	吉岡壽
陽實	2月12日	河原節喜	呉中	2月8日	門脇誠教	葦沼	2月7日	佐藤道孝



## 第 7 5 5 期 修 養 科 募 集 要 項

**\* 修養科期間**

立教167年3月1日～5月27日

**\* 教 養 掛**

3ヶ月間	西 江 昌 直	(大教会役員・金 浦 分教会長)
1ヶ月目	原 公 彦	(芦 常 分教会長)
2ヶ月目	藤 本 基 喜	(惠 陽 分教会長)
3ヶ月目	田 中 隆 之	(福 山 分教会長)

**\* 募集要項**

- ・ 志願者は、3月末日現在で満17歳以上で、下表の必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・ 2月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・ 3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、5月29日の昼食後に解散。

**\* 教 科 書 (必須)**

『おふでさき』、『みかぐらうた』、『天理教教典』、『稿本天理教教祖伝』、『よふぼく手帳』。

**\* 参 考 書 (出来れば持参)**

『おてふり概要』、『なりもの練習譜』(笛・打楽器または三曲)、『おやしき・史跡案内』。

**\* 携 行 品**

おつとめの扇、筆記用具、認印、笛(男鳴物の講義で笛と小鼓の内、笛を選択する人のみ)。

**\* 服 装**

ハッピー及び帯・バンド、長ズボン(又は、それに類するもの)、靴。

書 類	大教会	詰所	備 考
「順序参拝票」	○	○	
「別 席 願」	○	○	・「初席願」の順序参拝がまだの者で、修養科入学後に初席を運ぶ者のみ。
「席 札」		○	
「別席のしおり」	○	○	・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		・おさづけの理拝戴願の順序参拝も合せて行なう。
本 部 御供		○	
「おさづけの理拝戴願」	○	○	・「おさづけの理拝戴願」の順序参拝がまだの者のみ。
「おはなし」	○		
大教会 御供	○		・願書に日付を入れない事。
本 部 御供		○	
「修養科入学願」		○	・御供は任意であるが、慣例により、200円以上。
「修養科入学事由書」		○	
修養科入学御供	○		
「住民票」または「戸籍抄本」		○	・「戸籍記載事項証明書」、「身分証明書」でもよい。



## 学生層育成者講習会のご案内

日 時	2月21日(土) 大教会月次祭おつとめ終了後
場 所	大教会神殿
対 象	教会長、先達、よふぼく

## にをいがけ、おたすけ実修会要員研修会

日 時	2月22日(日) 朝づとめより 正 午 昼食後 解散
場 所	笠岡大教会 講堂
講 師	大教会長様
内 容	講義「おつとめの理あい」 感話(代表2人) ねりあい
対 象	実修会要員
服 装	ハッピー着用

## 立教167年 教会長講習会

日 時	2月26日 午後1時30分 受付、2時 開講 27日 正午 閉講
場 所	笠岡詰所
講 師	本部員 永尾一夫 先生 布教の家 岡山寮 副寮長・教誨師 旭中央分教会 前会長 岡本照子 先生
内 容	大教会長様挨拶、講話① 永尾一夫 先生、 講話② 岡本照子 先生、ねりあい(約4時間)。
対 象	教会長
受講お供	3,000円(受付で頂きます)。



## 実践項目集計 (11月)

百万軒にをいがけ	76,097軒
おさづけのお取次	5,028回
身上事情お願い	966件
提出教会	123ヶ所

## 春の学生おぢばがえり

日 時	3月28日(日)
内 容	式典「真柱様お言葉」(午前9時・本部中庭) 直屬アワー・別席 後夜祭『春まつり』(夕づとめ後)

## 鼓笛バンド講習会

日 時	3月30日(火)～4月2日(金) 3泊4日
内 容	お供え演奏曲の練習・修得、 お楽しみ行事(室内オリンピック等)
参加御供	2,000円 ※4月2日は、少年会おつとめ総会へも参加します。

立教167年

## 少年会笠岡団おつとめまなび総会

日 時	平成16年4月2日(金) 午前9時 受付、9時半 開会
場 所	笠岡大教会
内 容	午前中 おつとめまなび式典 午後 アトラクション(お楽しみ行事)
対 象	少年会員、高校生、大学生(係員としてひのきしん)
参加御供	各教会 1,000円
<b>おつとめまなび総会役割</b>	
よろづよ～2下り目=上 下	3～4下り目=直1、大教会
5～6下り目=福 山	7～8下り目=高 屋
9～10下り目=島 根	11下り目=久 松
12下り目=直2、府中市	

## 特別ひのきしん5日隊

期 間	4月1日(木)～4月5日(月)
割 当	20名(参加ご希望の方は、早めに各ブロック布教部員へ)
参加御供	3,000円

# 立教百六十六年十二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます

親神様の親心溢れる御守護とお導きを頂きつつ月日を重ねるうちに立教百六十六年の今年も早や十二月を迎え残すところあと十日となつてまいりました。日頃の御高恩に御礼申し上げ改めて今年一年を思い返してみますと昨年の秋の大祭に御発布戴いた論達第二号を受け笠岡では「をやの思いをにをいがけ 内治に心を配り おたすけに誠の心をつくそう」を合言葉に三つの実践項目を揚げ教祖百二十年祭に向けて三年千日と仕切つての歩み出しの年として位置づけ成人の歩みを進めさせて頂いている中に地方講習会に参加又各教会に於けるにをいがけおたすけ実修会等を通して実践項目の心作りと実動に勤め励まして頂いてまいりました。まだ一年目として十分な成人は出来ておりませんが成人に向けてのスタートをきらせて頂く事が出来ました事を有難く存じます。

今年一年賜りました御守護の数々に改めて御礼申し上げたいと年末の慌ただしさ寒さも厭いませず寄り集いました理に繋がる道の子供達と相共に只今からおつとめ奉仕者一同喜び感謝の心も一汐に陽気に勇んで座りづとめてをどりをとめて本年納めの月次祭を執り行なわせて頂きます。皆の眞実の状を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

又年の瀬に当り今年一年を眞摯に振り返つてみた時三年千日の一年目とは言え至らぬところもあつたように思います。素直に反省をすると共に来るべき年に向け新たな気持ちで成人を誓い合い一日一日確実な成人の歩みになるよう論達に込められた「人を救ける心の涵養と実践」の思いを心に湛えて申し合わせた実践項目の実動に邁進させて頂く覚悟でございます

何卒親神様には我身思案にとらわれがちな世の中にあつて決して惑わされる事なくむしろそんな時代だからこそと我身思案を捨てひながた一筋に歩もうとする皆の眞実の心をお受け取り下さいまして方たすけの上に更なる自由の御守護を賜り助ける方も助けられる方も共にたすけ一条の喜びを味わわせて頂きまして喜び溢れる年末年始になりますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申



▽秀詠 川島郷分教会前会長 香取敏子

眞実と

誠の心を目標とし

▽佳詠 東悠分教会会長夫人 田林 美智子

おさづけに

瞬きもせず幼の目

▽佳詠 芳阪布教所長 杉原 幹夫

匂いがけ

さづけ取り次ぎ目指す朝

養徳社発行「陽気」一月号「道柳」より転載。  
今回の課題は「目」、撰六十七句中、笠岡に繋がる教友の方三名(三句)が見事撰ばれ、掲載されました。おめでとうございます。  
この「かさおか」誌においても、読者の皆様方の才能溢れる作品を、お待ちいたしております。ジャンル・自薦他薦は問いませんので、どうぞ、ドシドシご寄稿ください。



## 立教百六十六年歳晩祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます

親神様の子供かわいい一条の親心溢れる御守護とお導きのままに日々結構にお連れ通り頂いております中に今年も早や数時間を残すのみとなつてまいりました 改めて今年一年を振り返つてみますと日本の政治も経済もイラク戦争に振り回され何か落ち着きのない一年であつたように思います 又長雨により農作物が不作で収穫期の盗難が相次ぎ人のモラルもここまで落ちてしまつたかの感のする一年でもありました

その中笠岡に繋がるお互いは教祖百二十年祭に向け三年千日の一年目と仕切つて成人の歩みを進めさせて頂く事が出来ました スローガンを掲げ実践項目を申し合わせて「人を救ける心の涵養と実践」の論達第二号の精神に応えようと実動に励んでまいりました 遅々とした歩みではありましたが確実な成人の歩みとならせて頂くことが出来ました事は誠に有難く勿体ない極みでございます

今年一年賜りました数々の御守護に改めて御礼申し上げますと遠近を問わず集いました道の子供達と相共に只今から立教百六十六年の歳晩祭を執り行わさせて頂きます

皆の喜び心一杯の姿を御覧下さいまして親神様もお勇み下さいませようようお願い申し上げます そして来るべき立教百六十七年が今年一年の反省をふまえたすけ一条に邁進して世界中が力で押さえつけ合うのではなく力を出し合つて助け合える世の姿に一步でも近づかせて頂ける一年になりますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

## 立教百六十七年元旦祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます

親神様の尽きせぬ親心によります御守護とお導きを頂いてここに立教百六十七年の新年を迎えさせて頂きました 一同と共に御礼と寿ぎ心を込めまして新年のご挨拶を申し上げます 明けましておめでとうございます 昨年賜つた御守護の数々に改めて御礼申し上げますと共に今年も変わらぬお見守りとお導きを頂きたいものと只今から笠岡に繋がるよふぼく一同慶び心も一入に明るく

陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめて元旦祭を執り行わせて頂きます 御前には折からの寒さ厳しい中にも関わらず喜びと感謝そして希望を胸一杯に湛えて夜も明けきらぬ内から寄り集いましたよふぼく信者又これからの道を担う子供達が共にお歌を唱和し同じ思いに伏し拝む状を御覧くださいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて昨年は教祖百二十年祭に向け三年千日と仕切つて成人するべく歩み出した一年目の年でございました

論達第二号の御発布を受けスローガンを掲げ実践項目を定めてたすけ一条の実動に励んでまいりました 加えて西境内地拡張整備ふしんやおやさとかた南右二棟のふしんを通しておぢばへの伏せ込みの大切さを思い起こさせて頂き土持ちに汗を流させて頂きました 今年も二年目昨年の反省をふまえより成人させて頂くべく心を尽くしたすけ一条の実動に邁進させて頂く覚悟でございます

人々は世上に悲観してか個々の楽しみばかりを追い求め助け合う姿が失われようとしています そんな中真実の親に縋りたすけ一条の誠を尽くそうとする道の子の姿があります 何卒親神様には皆のたすけ一条の誠真実の心をお受け取り下さいまして万たすけに尚もの自由の御守護を賜りましてお望み下さる陽気ぐらしの世の状に一步でも近づける一年になりますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

大教会だより

◎第七五二期修養科

自 立教166年12月1日  
至 立教167年2月27日

\*教養掛

三ヶ月間 中村 剛  
(久松分教会長)

一ヶ月目 奥 忠 郎

二ヶ月目 西村 彦一  
(府鮮分教会長)

三ヶ月目 高木 昭 祥  
(瑞雲分教会長)

(湯田原分教会長)

\*志願者

引野 谷屋 賢三  
稲倉 藤井 彬  
雲東 米原 豊  
鶴真 延原 光生  
高屋 谷本 倫子  
明石市 杉原 智子  
亀田山 浜田 たつ子

◎教会長資格検定講習会修了者

前期 立教166年11月14日終講  
福東 中村 佳弘  
大江橋 村川 忠  
前期 立教166年12月14日終講  
海松ヶ岡 森本 正典

◎第七五三期修養科一期講師

自 立教167年1月1日  
至 立教167年3月27日  
輝美濃 谷内 伸 自

◎直属ひのきしん五日隊

\*世

自 立教166年11月1日  
至 立教166年11月5日

\*参

浅野 明 教  
高屋 井 本 章  
高根 脇 元 史  
島根 村 文 子  
久松 明 教  
興明 誠 一郎  
陶山 繁 道  
海松ヶ岡 高 清  
新山 邑 高 清  
神山 昭 夫  
美之郷 桑田 正 隆  
美之郷 桑田 正 隆  
廣町 宮本 道 則  
福昭 福島 大 介  
福節 藤盛 年  
三郡 貞清 喜  
惠陽 藤基 史  
稲倉 北川 治 史

◎おやさごとくしん青年会ひのきしん隊

稲富士 須毛 雄昇  
大恵山 瀬田 教  
出雲 高島 定彦  
米古浦 三代 幸健  
多古浦 余代 健  
雲東 三村 健  
雲東 内田 温生  
品治 渡邊 啓一  
上小島 田中 芙佐子  
上備 田中 芙佐子  
宇津備 松谷 明彦  
府鮮 奥谷 忠郎

◎直属ひのきしん特別隊

自 立教166年12月1日  
至 立教166年12月20日  
久松 中村 剛 史

自 立教166年11月1日  
至 立教166年11月24日  
芳井 内海 史孝郎  
海松ヶ岡 宮崎 真史  
吸江 山崎 志史  
西村 本地 孝志  
引野 藤本 賢三  
福昭 平盛 樹三  
惠陽 佐藤 和尚 史  
陽實 西平 和史  
香地 福留 真理 志  
西伯 本多 正悟  
児



一月十七日はメモリアルな日である。毎年、この日になると思い出す。四日後、突然の三代真柱様の春季大祭ご参拝。陸路は絶たれ、空路高知よりのご来笠。全教に先駆けてお仕込みくださった「対岸の火」のお話は記憶に新しい。

その九日後、大いなる四代大教会長様のお出直。二ヶ月後には、地下鉄サリン事件。九月には、前真柱様のご入院・手術。明けて一月十二日には老奥様がお出直し遊ばされた。洵に、心の亡くなる一年であったが、忙しくはあっても忘れることのできない一年である。

教祖百十年祭年祭活動仕上げの一年間は、こつこつと暮を閉じた。年祭は出直の句である。前会長様と相前後して、多くの先人を失った。あれから九年、来月三日には、本部祖霊殿において、老会長様二十年祭・前会長様十年祭・老奥様十年祭が執行される。来年迎える「仕上げの年」に向かって、昨年の「踏み出しの年」から何を引き継いで、どう仕切り直しをすべきか。誠に、年祭は出直の句である。